

都市再生整備計画 事後評価シート  
津山市まちづくりパワーアップ地区

令和5年3月

岡山県津山市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岡山県		市町村名	津山市		地区名	津山市まちづくりパワーアップ地区		面積	141.0ha				
交付期間	平成29年度～令和3年度		事後評価実施時期	令和4年度		交付対象事業費	1621.0百万円	国費率	40.30%					
1)事業の実施状況	事業名													
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(市道B080号線、市道H080号線)、公園(山下児童公園)、地域生活基盤施設(津山駅北口駐輪場)、既存建造物活用事業(津山文化センター)											
		提案事業	地域創造支援事業(道路側溝整備事業、津山駅前にぎわい交流館整備事業)、まちづくり活動推進事業(城下地区まちづくり再生支援事業、旧出雲街道賑わい再生支援事業)											
	当初計画から削除した事業	事業名					削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		基幹事業	1 道路(市道A092号線) 2 地域生活基盤施設(津山駅南口広場、津山駅南口広場駐輪場、津山駅南北自由通路) 3 地域生活基盤施設(城東広場、城東観光駐車場、東新町観光駐車場、城西観光駐車場) 4 高質空間形成施設(市道H077号線、市道H169号線) 5 高質空間形成施設(SL蒸気機関車モニュメント) 6 高質空間形成施設(津山駅南口広場公衆トイレ)					【津山駅南口広場、津山駅南口広場駐輪場、津山駅南北自由通路、津山駅南口広場公衆トイレ】 上位計画の見直し及び整備方針の再検討に伴い事業を削除するもの。 【市道A092号線、城東広場、城東観光駐車場、東新町観光駐車場】 他事業での事業実施に向けて協議に着手したことにより削除した。 【城西観光駐車場】 城西地区が重要伝統的建造物群保存地区の認定協議に着手したことにより削除した。 【SL蒸気機関車モニュメント】 他事業での実施となったことから削除した。 【市道H077号線、市道H169号線】 関連事業との時期調整により計画期間外での実施となったため削除した。			【津山駅南口広場、津山駅南口広場駐輪場、津山駅南北自由通路、津山駅南口広場公衆トイレ、SL蒸気機関車モニュメント】 JR津山駅乗降客数の指標に影響することから、数値目標を下方修正した。 【市道A092号線、城東広場、城東観光駐車場、東新町観光駐車場、城西観光駐車場】 歴史文化関連施設利用者数の指標に影響することから、数値目標を下方修正した。 【市道H077号線、市道H169号線】 人口の年間社会動態の指標に影響することから、数値目標を下方修正した。			
			提案事業	1 地域創造支援事業(南北自由通路内整備事業) 2 地域創造支援事業(観光駐車場道路整備事業) 3 事業活用調査(事業効果分析調査)					1 上位計画の見直し及び整備方針の再検討に伴い事業を削除するもの。 2 関係者との協議により整備方針の再検討が必要となったことから事業を削除するもの。			1 JR津山駅乗降客数の指標に影響することから、数値目標を下方修正した。 2 歴史文化関連施設利用者数の指標に影響することから、数値目標を下方修正した。		
	新たに追加した事業	基幹事業	なし											
		提案事業	なし											
	交付期間の変更	当初	平成29年度～令和3年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし							
		変更	なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
	指標1	人口の年間社会動態	人/年	-6	H27	2	R3	モニタリング	評価値	○	あり	市街地におけるアパート・マンション建設などの不動産開発により、地域の転入者が増加したと思われ、道路側溝整備などにより暮らしの快適性が向上したことが助力となったと考えている。		
								34	20				なし	
	指標2	歩行者自転車通行量	人/日	6,812	H27	7,500	R3	モニタリング	評価値	○	あり	市内の回遊性向上政策により、歩行者自転車の通行量の底上げを果たした。今後は、新型コロナウイルスの影響による行動制限の緩和が見込まれるため、さらに増加すると考えられる。		
								11,406	9,347				なし	
	指標3	歴史文化関連施設利用者数	人/年	272,493	H27	304,000	R3	モニタリング	評価値	×	あり	R5年10月		
243,910								185,422	なし				○	市内の回遊性向上により、施設利用者数の底上げを図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、本市への来訪者や市民の利用が減少したため、目標値の達成には至らなかったが、今後は回復が見込まれることから、引き続き動向を注視していく。
指標4	JR津山駅の乗降客数	人/日	3,962	H27	4,100	R3	モニタリング	評価値	×	あり	R5年10月			
							3,946	3,058				なし	○	駐輪場等の整備により津山駅の利便性向上を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、鉄道の乗降客数が減少したため、目標値の達成には至らなかったが、今後は回復が見込まれることから、引き続き動向を注視していく。

	指 標		単 位	従前値		目 標 値		数 値		目 標 達 成 度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1	津山駅周辺 放置自転車撤 去台数	台	126	H27	/	/	60	/	/	/	津山駅北口駐輪場の整備により津山駅周辺 の快適性が向上し、放置自転車の減少につ ながったと考えられる。	R5年10月
	その他の 数値指標2					/	/		/	/			
	その他の 数値指標3						/		/	/			
4) 定性的な効果 発現状況	-												
5) 実施過程の評価			実施内容			実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	津山市統計書、施設利用者統計書、直接調査によるモニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	毎年度、本市の統計書等により確認する。			
	官民連携による 取組	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	持続的なまちづくり 体制の構築	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

## 様式2-2 地区の概要

津山市まちづくりパワーアップ地区(岡山県津山市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
交流拠点などの都市機能の強化による賑わいのまちづくり	人口の年間社会動態	単位:人/年	-6 H27	2 R3	20 R3
	歩行者自転車通行量	単位:人/日	6,812 H27	7,500 R3	9,347 R3
	歴史文化関連施設利用者数	単位:人/年	272,493 H27	304,000 R3	185,422 R3
	JR津山駅の乗降客数	単位:人/日	3,962 H27	4,100 R3	3,058 R3

The map shows the regeneration area in Tsuyama City, Okuyama Prefecture, with a total area of 14.1 ha. It highlights various projects and their locations:

- 津山文化センター** (Tsuyama Cultural Center): A modern building with a glass facade, illuminated at night.
- 道路側溝整備事業** (Roadside Gully Maintenance Project): A view of a newly installed gully along a residential street.
- 津山駅前北口駐輪場** (Tsuyama Station North Entrance Bicycle Parking Lot): A covered area for bicycle parking.
- 賑わい交流館** (Vibrant Exchange Hall): A community building with a traditional architectural style.

The map also shows the locations of various projects, including:

- 提案事業 まちづくり活動推進事業 城下地区まちづくり再生支援事業
- 提案事業 まちづくり活動推進事業 旧出雲街道賑わい再生支援事業
- 提案事業 地域創造支援事業 道路側溝整備事業
- 関連事業 暮らしにぎわい再生事業(山下地区)
- 基幹事業 公園 山下児童公園改築事業
- 基幹事業 道路 市道B080号線改築事業
- 基幹事業 既存建物活用事業 高次都市施設(津山文化C)
- 関連事業 美術館整備事業
- 基幹事業 地域生活基盤施設 津山駅北口広場駐輪場整備事業
- 提案事業 地域創造支援事業 津山駅前にぎわい交流館整備事業
- 関連事業 津山駅前自転車歩行者道整備事業
- 基幹事業 道路 市道H080号線改築事業

**凡例** (Legend):

- 都市再生整備計画区域 (Red outline)
- 都市機能誘導区域 (Yellow outline)
- 居住誘導区域 (Blue outline)
- 基幹事業 (Yellow box)
- 提案事業 (Blue box)
- 関連事業 (Dashed box)

Scale: 0, 250m, 500m

**まちの課題の変化**

- ・山下児童公園の改修や津山文化センターの改修により、都市施設の拡充が図られ、魅力的な都市の創出につながっている。
- ・津山駅北口駐輪場及び津山駅前にぎわい交流館の整備により、津山駅の交通結節点機能の強化が図られ、津山駅北口広場の利便性・快適性が向上した。
- ・市街地における道路側溝整備事業の効果により、歩行者等の回遊性が向上した。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- ・津山駅前にぎわい交流館(2F交流施設)について、多様な人々の利活用を推進する取組を行うとともに、利用しやすい環境、サービスの提供に向けた維持管理を行う。
- ・コロナ禍後の観光客の回復を見据え、賑いのあるまちづくりを推進するため城東・城西重伝建地区をはじめとした歴史的なまちなみとの連携を図り、魅力向上を図る必要がある。
- ・社会実験などを活用した、地域住民と来訪者等の交流する場・機会の創出を図るとともに、官民連携による体制づくりを進める。

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 官民連携による取組みの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値	●		<p>指標①「人口の年間社会動態」について、従前値-6人/年から10人/年への増加を目指す。</p> <p>指標②「歩行者自転車交通量」について、従前値6,812人/日から7,800人/日への増加を目指す。</p> <p>指標③「歴史文化関連施設利用者数」について、従前値272,493人/年から310,000人/年への増加を目指す。</p> <p>指標④「JR津山駅の乗降者数」について、従前値3,962人/日から4,250人/日への増加を目指す。</p>	<p>指標①「人口の年間社会動態」について、従前値-6人/年から2人/年への増加を目指す。</p> <p>指標②「歩行者自転車交通量」について、従前値6,812人/日から7,500人/日への増加を目指す。</p> <p>指標③「歴史文化関連施設利用者数」について、従前値272,493人/年から304,000人/年への増加を目指す。</p> <p>指標④「JR津山駅の乗降者数」について、従前値3,962人/日から4,100人/日への増加を目指す。</p>	各指標に影響する事業の中止等により、目標値の修正を行ったもの。
D. その他( )					

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	市道B080号線(二階町)	300	L=140m	66	L=140m	事業用地の取得が計画期間内に困難となったことによる事業の縮小	指標への影響なし	●	
道路	市道H080号線(南町一丁目)	34	L=42m	25	L=42m	設計内容の精査によるコスト縮減	指標への影響なし	●	
道路	市道A092号線(林田町)	118	L=65m	-	-	他事業での実施に向けて協議に着手したことに伴う事業の削除	指標への影響なし		
公園	山下児童公園	188	A=0.3ha	28	A=0.3ha	設計内容の精査によるコスト縮減	指標への影響なし	●	
地域生活基盤施設	津山駅南口広場	463	A≒2,000㎡	-	-	整備方針の再検討に伴う事業の削除	乗降客数の指標に影響するため、数値目標を下方修正。		
地域生活基盤施設	城東広場	94	A≒300㎡	-	-	他事業での実施に向けて協議に着手したことに伴う事業の削除	施設利用者数及び通行量の指標に影響するため、数値目標を下方修正。		
地域生活基盤施設	城東観光駐車場	62	A=2,000㎡	-	-	他事業での実施に向けて協議に着手したことに伴う事業の削除	施設利用者数及び通行量の指標に影響するため、数値目標を下方修正。		
地域生活基盤施設	東新町観光駐車場	5	A=1,200㎡	-	-	他事業での実施に向けて協議に着手したことに伴う事業の削除	施設利用者数及び通行量の指標に影響するため、数値目標を下方修正。		
地域生活基盤施設	城西観光駐車場	45	A=930㎡	-	-	重要伝統的建造物群保存地区認定協議に着手したことに伴う事業の削除	施設利用者数及び通行量の指標に影響するため、数値目標を下方修正。		
地域生活基盤施設	津山駅北口広場駐輪場	30	A=740㎡	31	A=740㎡	事業実施により事業費が確定したものの。	指標への影響なし	●	
地域生活基盤施設	津山駅南口広場駐輪場	38	A=250㎡	-	-	整備方針の再検討に伴う事業の削除	乗降客数の指標に影響するため、数値目標を下方修正。		
地域生活基盤施設	津山駅南北自由通路	940	L=60m	-	-	整備方針の再検討に伴う事業の削除	乗降客数の指標に影響するため、数値目標を下方修正。		
高質空間形成施設	市道H077号線	11	L=90m	-	-	関連事業との事業時期調整に伴う事業の削除	人口動態及び通行量の指標に影響するため、数値目標を下方修正。		
高質空間形成施設	市道H169号線	12	L=85m	-	-	他事業との調整により計画期間外での実施となったことによる事業の削除	人口動態及び乗降客数の指標に影響するため、数値目標を下方修正。		
高質空間形成施設	SL蒸気機関車(モニュメント)	51	N=1式	-	-	他事業での実施による事業の削除	乗降客数の指標に影響するため、数値目標を下方修正。		
高質空間形成施設	津山駅南口広場公衆トイレ	35	A=100㎡	-	-	整備方針の再検討に伴う事業の削除	乗降客数の指標に影響するため、数値目標を下方修正。		
既存建造物活用事業	津山文化センター	1,772	N=1式	1,343	N=1式	工事内容の精査及びコスト縮減効果による事業費の減	指標への影響なし	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと



提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	南北自由通路内整備事業	25	L=60m	-	-	整備方針の再検討に伴う事業の削除	乗降客数の指標に影響するため、数値目標を下方修正。		
	道路側溝整備事業	52	L=900m	65	L=933m	詳細設計の実施により、事業内容が確定したことによる事業費の変更	指標への影響なし	●	
	観光駐車場道路整備事業	37	L=140m	-	-	整備方針の再検討に伴う事業の削除	施設利用者数及び通行量の指標に影響するため、数値目標を下方修正。		
	津山駅前にぎわい交流館	56	A=127.5m <sup>2</sup>	55	A=127.2m <sup>2</sup>	工事内容の精査による事業費の減	指標への影響なし	●	
事業活用調査	事業活用調査	6	モニタリング	-	-	単独費での実施となったことによる事業の削除	指標への影響なし		
まちづくり 活動推進事業	城下地区まちづくり再生支援事業	6	一式	4	一式	実施方法の精査による事業費の変更	指標への影響なし	●	
	旧出雲街道賑わい再生支援事業	6	一式	4	一式	実施方法の精査による事業費の変更	指標への影響なし	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考	
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画			
美術館整備事業		城下周辺地区	3,000		H31～H33	H31～	R4年度からは街中を屋根のない博物館ととらえる「まちじゅう博物館構想」として事業展開している。		
津山駅前自転車歩行者道整備事業		一般国道53号(津山駅周辺)			H26～	H26～	津山駅前を含め歩道整備が進んでいる。		
暮らし・にぎわい再生事業		津山市山下地区(新津山国際ホテル)	3,708		H28～H30	H28～H30	予定通りH31年2月に開業した。		

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無		
			基準 年度		基準 年度		基準 年度						あり	なし		
指標1	人口の年間社会動態	人/年	4月1日時点の住基台帳を基に対象区域内人口の年度別変動を把握する。			-6	H27	2	R3	モニタリング	R1	34	モニタリング	○		
										事後評価	確定見込み	○	20	事後評価		
指標2	歩行者自転車通行量	人/日	定点観測している歩行者及び自転車(10地点)の1日当たりの通行量を把握する。			6,812	H27	7,500	R3	モニタリング	R1	11,406	モニタリング	○		
										事後評価	確定見込み	○	9,347	事後評価		
指標3	歴史文化関連施設利用者数	人/年	経年観測している関連施設(9施設)の年間利用者数を把握する。			272,493	H27	304,000	R3	モニタリング	R1	243,910	モニタリング	×		○
										事後評価	確定見込み	○	185,422	事後評価		
指標4	JR津山駅の乗降客数	人/日	JR津山駅の乗降客数をJR西日本岡山支社の社内データの提供を受け、把握する。			3,962	H27	4,100	R3	モニタリング	R1	3,946	モニタリング	×		○
										事後評価	確定見込み	○	3,058	事後評価		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	市街地におけるアパート・マンション建設などの不動産開発により、地域の転入者が増加したと思われる。	一過性の好転の可能性があり、引継ぎ継続的な指標の収集により、効果の検証が必要である。
指標2	津山駅北口駐車場の整備などにより、市街地への回遊性が向上したものの。	引継ぎ継続的な指標の収集により、効果の検証が必要である。
指標3	新型コロナウイルス感染症の影響により人の流れが抑制され、観光客数や市民の利用が減少したものの。	新型コロナウイルス感染症の収束後に指標と効果の検証が必要である。
指標4	新型コロナウイルス感染症の影響により乗降客が近年より減少したものの。	新型コロナウイルス感染症の収束後に指標と効果の検証が必要である。

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標		単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
					基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1	津山駅周辺 放置自転車 撤去台数	台	毎年実施している津山駅周辺に おける放置自転車の撤去台数 を把握する。	-	-	126	H27	モニタリング			駅前空間の整備による利便性 の向上と市内への観光客の回 遊性に関するものであるため。 60	
								事後評価	確定 ●	見込み		
その他の 数値指標2								モニタリング				
								事後評価	確定	見込み		
その他の 数値指標3								モニタリング				
								事後評価	確定	見込み		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
津山市統計書、施設利用者統計書、直接調査によるモニタリング	予定どおり実施した	● 実施頻度：計画期間のうち1回 実施時期：令和3年2月 実施結果：採用している指標は、統計書や各施設管理者により毎年度、数値が集計・整理されているものであり、効率的なモニタリングを実施することができた。	モニタリング同様に毎年度、数値の確認を行う。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		

### 添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
社会資本整備総合交付金事後評価検討会 【庁内の横断的な組織】	関係各課(都市建設部、企画財政部、産業経済部)	令和5年1月	都市計画課 (社会資本整備総合交付金主管課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2							
指標名		人口の年間社会動態		歩行者自転車通行量							
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見		
基幹事業	道路 市道B080号線(二階町)	○	市街地における道路側溝整備による暮らしやすさの向上、津山文化センター改修による都市機能強化などが一因となり、民間不動産開発等により一時的に転入が増加したと考えられる。	○	市街地における道路側溝整備事業による歩行空間の整備及び津山駅周辺への駐輪場整備等により、自転車の利用環境が向上した効果と考えられる。						
	道路 市道H080号線(南町一丁目)	◎		○							
	公園 山下児童公園	◎		◎							
	地域生活基盤施設 津山駅北口広場駐輪場	○		◎							
既存建造物活用事業 津山文化センター	○			○							
提案事業	地域創造支援事業 道路側溝整備事業	◎				○					
	地域創造支援事業 津山駅前にぎわい交流館整備事業	○				○					
	まちづくり活動推進事業 城下地区まちづくり再生支援事業	○				◎					
	まちづくり活動推進事業 旧出雲街道賑わい再生支援事業	○				◎					
関連事業	美術館整備事業										
	津山駅前自転車歩行者道整備事業 暮らしにぎわい再生事業										

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	<p>今後は、引き続き民間活力が継続的に活発化するよう市街地整備を図る。</p> <p>今後は放置自転車台数の減少に努め、駐輪場を含めた駅前景観向上を図っていく。</p>
-------	---

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別		指標3			指標4								
指標名		歴史文化施設利用者			JR津山駅の乗降客数								
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	道路 市道B080号線(二階町)	-	文化センターの改修により都市機能の拡充を図り魅力的な観光地としての整備を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大により人の流れが抑制されたことがマイナス要因として大きく影響した。	Ⅲ	-	駐輪場の整備などにより、津山駅の利用環境の向上を図ったが、新型コロナウイルス感染症拡大により観光客を始めとした人の流れが抑制されたことが大きく影響した。	Ⅲ	-			-		
	道路 市道H080号線(南町一丁目)	-			△								
	公園 山下児童公園	-			-								
	地域生活基盤施設 津山駅北口広場駐輪場	-			△								
	既存建造物活用事業 津山文化センター	△			-								
提案事業	地域創造支援事業 道路側溝整備事業	-			-			-			-		
	地域創造支援事業 津山駅前にぎわい交流館整備事業	-			△								
	まちづくり活動推進事業 城下地区まちづくり再生支援事業	△			-								
	まちづくり活動推進事業 旧出雲街道賑わい再生支援事業	△			-								
関連事業	美術館整備事業												
	津山駅前自転車歩行者道整備事												
	暮らしにぎわい再生事業												

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	新型コロナウイルスの収束後も引き続き指標の集計を行い、整備効果の検証に努めていく。	新型コロナウイルスの収束後も引き続き指標の集計を行い、整備効果の検証に努めていく。	
------------------	---	---	--

#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
社会資本整備総合交付金事後評価検討会 【庁内の横断的な組織】	関係各課(都市建設部、企画財政部、産業経済部)	次期:都市再生整備計画策定時	津山市都市計画課 (社会資本整備総合交付金主管課)

##### 添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
県北地域の中心都市としての 広域交流拠点を形成するた め、都市機能の集積や整備	・津山駅周辺の整備により利便性・快適性が向上した。	・津山駅周辺では、官民連携によるエリア価値の向上を図る動きが必要である。	・津山駅周辺では津山駅北口駐輪場や津山駅前にぎわい交流館の整備により観光拠点としての整備はなされたが、当初計画に計上していた観光駐車場の整備が中止となったことから、観光地へ自家用車や観光バスを用いる旅行者のための観光用駐車場の必要性が一層高まっている。
中心市街地の再構築等による 利便性・快適性の向上による 魅力的な都市づくり	・道路側溝整備により、市民や観光客が歩行しやすい環境となった。	・道路事業について、一部未整備区間が残ることとなった。	
歴史・近代化遺産等の既存ス トック等による賑わいの創出	・文化センターの改修により、文化振興の促進による魅力的な都市づくりを図った。	・今後は、これまで整備の中心であった城下地区および津山駅周辺地区と重伝建地区である城東・城西地区を連携させることにより更なる歴史・文化的遺産の活用が必要である。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	広域交通拠点施設の維持・拡大	・津山駅北口広場へ交流施設が整備され、今後は、施設の活用と運用が課題である。	・施設運営手法の検討 ・施設を有効活用するための催しやイベントの開催
	歴史・文化資源を活かした観光振興	・城下町や城跡の市街地中央と城東・城西地区を連携させた歴史・文化の新たな活用方法の創出。	・観光振興に関するPRの強化 ・歴史・文化施設を有効活用するための催しやイベントの開催
	地域防災機能の強化	・地域防災施設等の役割・機能等を広く市民に普及するとともに、市民の防災意識の向上を図る。	・地域防災施設の整備 ・防災情報の発信促進

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	観光用駐車場の整備	・観光地となる歴史・文化的資源を持つ地区へ観光用駐車場の整備を行い、合わせて観光情報機能や地域防災機能などを整備することで、効率的な課題改善を行う。	・観光用駐車場 ・観光案内施設 ・地域防災施設
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策		

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見



添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	人口の年間社会動態	人/年	-6	H27	2	R3	確定 ●	20	○	あり			
指標2	歩行者自転車通行量	人/日	6,812	H27	7,500	R3	確定 ●	9,347	○	あり			
指標3	歴史文化関連施設利用者数	人/年	272,493	H27	304,000	R3	確定 ●	185,422	×	あり	令和5年10月	経年観測している関連施設(9施設)の年間利用者数を把握する。	
指標4	JR津山駅の乗降客数	人/日	3,962	H27	4,100	R3	確定 ●	3,058	×	あり	令和5年10月	JR津山駅の乗降客数をJR西日本岡山支社の社内データの提供を受け、把握する。	
指標5							確定 ●			あり			
その他の数値指標1	津山駅周辺 放置自転車撤去台数	台/年	126	H27			確定 ●	60					
その他の数値指標2				H			確定 ●						
その他の数値指標3				H			確定 ●						

### 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・モニタリングを実施したことにより、交付期間途中に供用した事業の効果を確認することができた。	・毎年データが算出できる指標を選定するとモニタリングが容易となるため、指標を設定する際には計測の事も考慮して検討することが望ましい。
	うまくいかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	・各指標の数値の算出方法を記載した書類があったため、容易に算出することができた。	都市再生整備計画の作成時には、モニタリングや事後評価の実施を考慮し、算出方法の記録を保存しておく必要がある。
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		・まちづくりに関する事業においては、今後も広く市民に情報を公開したうえで、意見や要望等を聴取する。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	・採用した指標の多くは、津山市統計書等により毎年度、数値が整理されているもので、モニタリングを容易に実施することができ、また、交付期間途中に供用した事業の効果を確認することができた。	・モニタリングは、事業の進捗状況や効果の発現状況を確認したうえで進め方を見直しできることから有効である。 ・アンケート調査などの時間と費用が掛かる指標を設定することは、計測の事も考慮して検討することが望ましい。
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

### 添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

都市構造再編集中支援事業「津山中心市街地地区」(R5年度～R9年度)

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市ホームページに掲載	令和5年1月12日	令和5年1月12日～令和5年1月25日	担当課への 電話、FAX、電子メール	都市計画課 (都市再生整備計画事業担当課)
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他	都市計画課にて閲覧	令和5年1月12日	令和5年1月12日～令和5年1月26日		

住民の意見	・意見はありませんでした。				
-------	---------------	--	--	--	--

## (6) 評価委員会の審議

### 添付様式8 評価委員会の審議

	委員構成	実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	美作大学短期大学部専攻科 准教授 若林 美佐子 氏	令和5年1月30日	都市計画課 (都市再生整備計画事業担当課)	津山市社会資本整備総合交付金評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	・津山商工会議所 理事 後藤 和哉 氏 ・津山市観光協会 専務理事 高務 雅彦 氏				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・特になし
	成果の評価	・津山文化センターの整備内容は良好である。今後、利用者の増加を図る使い方の検討が必要である。 ・側溝整備事業は市街地の内水対策としても効果がある。 ・にぎわい交流館(2F)交流施設について、利用促進を図るために運営手法の検討が課題である。また、物販施設については地元特産品などの振興を図る大事な施設である。
	実施過程の評価	・実施過程について確認した。 ・意見は特になし。
	効果発現要因の整理	・効果発現要因の整理内容について確認した。
	事後評価原案の公表の妥当性	・原案公表について確認した。
	その他	・その他指標(津山駅周辺 放置自転車撤去台数)の設定について確認をした。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・手続きについて確認した。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・他計画との整合性を図り今後の計画を立案すること。 ・次期計画では今回計画において削除した事業の再開も検討してほしい。 ・今回は歴史・文化に焦点を当てた整備方針であったが、今後は「食」の観点も取り入れて方針を検討していただきたい。 ・今後は福祉施設入居者などを含め、多様な視点を持った事業を計画していただきたい。
	フォローアップ	・指標3(歴史文化関連施設利用者)について令和4年度は鶴山公園(津山城)について利用者が好調であり、フォローアップでの成果が期待できる。 ・指標4(JR津山駅乗降客数)について、駅周辺の私立高校の移転が今後影響すると考えられる。
	その他	・特になし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・確認した。
その他	・特になし	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

## (7) 有識者からの意見聴取

### 添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--

# 都市再生整備計画

つやまし 津山市まちづくりパワーアップ地区<sup>ちく</sup>

## 第4回変更

おかやま つやまし  
岡山県 津山市

令和4年2月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	岡山県	市町村名	つやまし 津山市	地区名	つやまし 津山市まちづくりパワーアップ地区	面積	141 ha
計画期間	平成 29 年度 ~ 令和 3 年度	交付期間	平成 29 年度 ~ 令和 3 年度				

<p><b>目標</b></p> <p>大目標: 交流拠点など都市機能の強化による賑わいのまちづくり</p> <p>目標1 県北の中心都市としての拠点性向上を目指したまちづくりを推進する。</p> <p>目標2 誰もが安心して住みつけられるまちづくりを推進する。</p> <p>目標3 津山の特色ある歴史遺産等を活かしたまちづくりを推進する。</p>
<p><b>目標設定の根拠</b></p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。</p> <p>本市は、これまで高度成長期を経て市街地が拡大し、郊外の丘陵地や農地においても宅地開発が進むなど、都市のスプロール化が進んできました。本格的な人口減少、少子高齢社会の到来による社会環境の変化に的確に対応するためには、これまでの拡大型の都市構造から、コンパクトでまとまりのある都市構造への転換を一層進める必要があります。</p> <p>持続可能なまちづくりをめざし、都市機能の集約化や生活サービス機能の持続向上を図るとともに、地域資源や特性を活かしつつ、各地域の拠点を中心として、相互に連携・補完することができる多極型連携型のまちづくりに取り組みます。</p> <p>県北の中心都市としてふさわしい多様な都市機能や公共施設などが集積し、地域連携・交流を支えるとともに、広域的な機能を有する本市全体の中心拠点と支所や出張所周辺の生活関連施設や公共施設などが集積する地域生活拠点を設定し、これらを相互に連絡する交通や情報などのネットワークにより、市全体での連携・交流を図ります。</p> <p>過疎化が進行する中山間地域などにおいては、公民館や小学校区等を単位として、生活環境やコミュニティを持続するため地域活動や交流の拠点を推進し、地域の活力を維持するとともに、これらの小さな拠点や周辺集落、地域生活拠点をつなぐ移動手段を確保することにより、安心して暮らし続けられる地域生活圏の形成を図ります。</p>
<p><b>まちづくりの経緯及び現況</b></p> <p>津山市は、城下町特有の都市構造を今に残し、津山城跡など歴史的価値の高い建造物など、築城以来の多くの歴史的建造物や近代化遺産が、中心市街地を中心に広く分布し、歴史的な資源や伝統文化が保存・継承され、これらが相まって『津山らしさ』を醸し出している。岡山県観光地別観光客数によると、津山・鶴山公園地区(津山城跡)の観光客数は平成17年に約59万人であったのに対し、中心市街地再生地区(H16-H20)、城東周辺地区(H21-H23)、中心市街地再生地区(H24-H28)の都市再生整備計画事業や関連事業、B-1グランプリ「津山ホルモンうどん」等の効果により、平成26年には約118万人に増加している。</p> <p>本地区は県北地域の中心都市であるが、中心市街地地区の人口は減少しており、空き家や空き店舗の増加など、中心市街地の求心力の低下や経済活動の空洞化等の問題を抱えている。この問題を解決するために、平成25年度から「津山市中心市街地活性化基本計画」を策定し、官民一体となって活性化に取り組んでおり、中心市街地再生地区都市再生整備計画事業(H24-H28)により、「津山駅北口広場」や防災機能を備えた「井口公園」整備等、都市基盤や公共施設を整備した結果、人口の年間社会動態の減少傾向に改善の兆しが見えているが、中心部の人の往来(歩行者自転車通行量)は依然減少傾向にある。</p> <p>そこで、JR津山駅周辺の整備や、既存施設の改修等により、県北地域の中心都市として、更なる広域交流拠点の形成を図るとともに、JR津山駅周辺にある、扇形機関車庫(津山まなびの鉄道館)など既存ストック等を生かした賑わいのあるまちづくりを推進することが重要となっている。</p>
<p><b>課題</b></p> <p>人口が減少し、少子高齢化が進展する中で、人の往来を増やし中心市街地の求心力の向上を図り、持続可能な都市経営を営むために、都市基盤や公共施設などの整備をするとともに、有効活用を図り、高密度でコンパクトな都市づくりを図ることが課題である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 県北地域の中心都市としての広域交流拠点を形成するため、都市機能の集積や整備等の取り組みが必要である。</li> <li>② 中心市街地の再構築等による利便性・快適性の向上による魅力的な都市づくりが必要である。</li> <li>③ 歴史・近代化遺産等の既存ストック等による賑わいの創出が必要である。</li> </ol>
<p><b>将来ビジョン(中長期)</b></p> <p>◇津山市第5次総合計画 基本構想(平成27年9月)</p> <p>彩りあふれる花開く 津山の創造 … 市民一人ひとりの想いがかなう 夢と希望の花が咲き誇るまち</p> <p>開花プログラム1: 子育て環境の充実と人と文化を育むまちづくり</p> <p>開花プログラム2: 健やかで安心できる支え合いのまちづくり</p> <p>開花プログラム3: 雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり</p> <p>開花プログラム4: 豊かな自然環境の保全と快適に暮らせるまちづくり</p> <p>開花プログラム5: 災害への備えと都市機能の充実したまちづくり</p> <p>持続可能なまちづくりを目指し、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考え方にに基づき、都市機能の集約化や生活サービス機能の維持向上を図るとともに、地域資源や特性を活かしつつ、各地域の拠点を中心として、相互に連携・補完することができる「多極連携型のまちづくり」に取り組むこととしている。</p>

**都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。**

都市機能配置の考え方  
 ・居住機能や医療・福祉等の都市機能を誘導する地域をあらかじめ明示することで将来の都市像を明確にし、インセンティブを講じることで、公共施設のみではなく住宅及び医療・福祉・商業等の民間の施設も対象としてその誘導を図り、コンパクトシティの形成を目指す。  
 ・コンパクトシティの形成においては、居住機能や都市機能を誘導する区域や、誘導する都市機能などを設定し、民間の投資や、居住を効果的に誘導する施策を講じます。  
 ・公共交通ネットワークにおいては、中心市街地における回遊性の向上や、郊外地域から中心市街地へのアクセス性の維持及び向上を図ることで、市民の移動利便性を確保します。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 ※誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。  
 ・長年にわたり蓄積された既存ストックや公共交通を活かす。空き家・空き店舗の利活用、中心部における高密度居住の推進、中心市街地の空洞化の改善などによる多様なニーズに応えられる県北の中心拠点にふさわしい活力ある市街地形成  
 ・まとまりのある市街地では都市機能の維持・集積による高齢者や子育て世代も安心して暮らせる便利で快適な市街地の形成  
 ・津山駅周辺の商業業務地では一体として市街地開発事業の促進

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

**目標を定量化する指標**

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
人口の年間社会動態	人/年	人口社会動態(転入・転出)を住民基本台帳から把握する。	まちづくりの推進により、暮らしやすさ、住みつけたいと感じれば、必然的に人口の社会動態の減少傾向は改善され、増加を見込む。	-6	平成27年度	2	令和3年度
歩行者自転車通行量	人/日	定期観測している歩行者及び自転車(10地点)の1日当たりの通行量を把握する。	中心部の拠点性の向上により、人の往来が集う賑わいを示す指標となり、事業により通行量の増加を見込む。	6,812	平成27年度	7,500	令和3年度
歴史文化関連施設利用者数	人/年	経年観測している歴史文化施設(9施設)の年間利用者数を把握する。	歴史文化資源を活かしたまちづくりにより、施設の利用者の増加を見込む。	272,493	平成27年度	304,000	令和3年度
JR津山駅の乗降客数	人/日	JR津山駅の乗降客数をJR西日本岡山支社の社内データの提供を受け、把握する。	駅周辺の整備による利便性・快適性の向上により、JR津山駅の乗降客の増加を見込む。	3,962	平成27年度	4,100	令和3年度



計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【整備方針1】人が集い賑わいを感じる「まち」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域交通拠点である津山駅周辺を整備し、利便性・快適性の向上を図る。</li> <li>・中心市街地を再構築し、利便性・快適性の向上を図る。</li> <li>・観光客などの訪問者に対し、魅力的な都市機能の向上を図る。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「道路」市道B080号線、市道H080号線</li> <li>「公園」山下児童公園</li> <li>「地域生活基盤施設(駐輪場)」津山駅北口広場駐輪場</li> </ul> <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「地域創造支援事業」道路側溝整備事業、津山駅前にぎわい交流館</li> <li>「まちづくり活動支援事業」城下地区まちづくり再生支援事業、旧出雲街道賑わい再生支援事業</li> </ul>
<p>【整備方針2】人が暮らしやすいと感じる「まち」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市施設の拡充により、魅力的な都市づくりを促進させる。</li> <li>・中心市街地を再構築し、利便性・快適性の向上を図る。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「公園」山下児童公園</li> <li>「既存建物活用事業(高次都市施設)」津山文化センター</li> </ul> <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「地域創造支援事業」道路側溝整備事業、津山駅前にぎわい交流館</li> </ul>
<p>【整備方針3】歴史文化を感じる「まち」、楽しむ「まち」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や観光客が津山の歴史文化を気楽に感じ楽しめる都市づくりを推進させる。</li> <li>・歴史文化施設の拡充により、魅力的な都市づくりを促進させる。</li> <li>・憩い・安らぎ空間を確保し、自然と共生する都市づくりを促進させる。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「公園」山下児童公園</li> <li>「既存建物活用事業(高次都市施設)」津山文化センター</li> </ul> <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「地域創造支援事業」道路側溝整備事業、津山駅前にぎわい交流館</li> </ul>
<p>その他</p>	
<p>○交付期間中の住民参加</p> <p>現在、吉井川南岸地区においては、周辺町内会及び関係商店街を中心とする「津山駅周辺の街づくりのあり方を考える」住民の会(以下「住民の会」という。)を地元が組織している。住民の会を中心として、市民参加型の津山駅周辺の整備に向けた具体的な計画策定を進めている。将来に渡って持続的にまちづくりを推進するため、組織体の連携強化を図る検討を進めている。</p> <p>また、中心市街地活性化基本計画のエリア内では、関係町内会及び関係機関で組織する「津山市中心市街地活性化協議会(以下「協議会」という。)を組織している。協議会を中心として、中心市街地の賑わいの整備に向けた具体的な計画策定を進めている。将来に渡って持続的にまちづくりを推進するため、組織体の連携強化を図る検討を進めている。</p> <p>なお、本地区において、美術館整備を予定しており、関係団体を中心とする「美術館構想審議会」を市の付属機関として組織している。実施に当たっては、市民参加型の審議会に拡充再編し、具体的な計画策定を進めていく。</p> <p>○交付期間中の計画管理について</p> <p>現在、庁内内部の関係部局による横断的な組織として「津山駅周辺地区整備検討会」を組織し、計画立案を行っている。交付期間中における事業実施、調整及び目標達成過程の数値確認については、その組織を改変し、「計画管理委員会」とし、対応を図る。また、関係外部組織との連携によるモニタリングを実施し、円滑な事業推進を図る。</p> <p>なお、これらの事業実施状況や数値目標の達成状況、モニタリングの結果などについては、市のホームページ等を利用し、随時市民に公表する。</p>	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集中支援事業)

様式(1)-(

交付対象事業費	1,621	交付限度額	652.5	国費率	0.403
---------	-------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比 B/C
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路		市道B080号線(二階町)	津山市	直	140m	H29	R3	H29	R3	66	66	66		66	-
道路		市道H080号線(南町一丁目)	津山市	直	42m	H29	H29	H29	H29	25	25	25		25	-
公園		山下児童公園	津山市	直	3,000㎡	H30	R3	H30	R2	28	28	28		28	-
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設		津山駅北口広場駐輪場	津山市	直	740㎡	H29	H29	H29	H29	31	31	31		31	-
高質空間形成施設															
高次都市施設															
		観光交流センター													
		テレワーク拠点施設													
		子育て世代活動支援センター													
		複合交通センター													
誘導施設		医療施設													
		社会福祉施設													
		教育文化施設													
		子育て支援施設													
既存建造物活用事業		津山文化センター	津山市	直	-	H29	R1	H29	R1	1,343	1,343	1,343		1,343	-
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										1,493	1,493	1,493	0	1,493	
提案事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
地域創造支援事業	道路側溝整備事業	中心商店街、駅周辺地区	津山市	直	933m	H29	R3	H29	R3	65	65	65		65	
	津山駅前にぎわい交流館整備事業	駅周辺地区	津山市	直	127.2㎡	H29	H29	H29	H29	55	55	55		55	
事業活用調査															
まちづくり活動推進事業	城下地区まちづくり再生支援事業	中心商店街	津山市	直	-	H29	H30	H29	H30	4	4	4		4	
	旧出雲街道賑わい再生支援事業	旧出雲街道沿線	津山市	直	-	R1	R2	R1	R2	4	4	4		4	
合計										128	128	128	0	128	…B
													合計(A+B)	1,621	



津山市まちづくりパワーアップ地区(岡山県津山市)

面積 141 ha 区域 西新町、中之町、勝間田町、林田町ほかの全部と東新町、山下、西寺町ほかの一部

